

佐賀県景気動向指数

令和8年9月30日
政策部統計分析課

1 令和8年7月の動向

- ◆ 先行指数 75.0% …… 3か月連続で50%を上回った。
- ◆ 一致指数 71.4% …… 6か月連続で50%を上回った。
- ◆ 遅行指数 66.7% …… 5か月振りに50%を上回った。

〈個別指標の動向〉

	＋ となった指標		－ となった指標		保ち合い(O)	
《先行系列》 採用系列数 8 拡張系列数 6.0 指 数 75.0	新規求人数	2か月連続	所定外労働時間数	7か月振り		
	鉱工業生産指数(生産財)	4か月連続	乗用車新車登録台数	7か月振り		
	鉱工業在庫率(生産財・逆)	3か月連続				
	新設住宅着工戸数	5か月振り				
	企業倒産件数(逆)	2か月連続				
	銀行貸出残高(☆)	2か月連続				
《一致系列》 採用系列数 7 拡張系列数 5.0 指 数 71.4	有効求人倍率(就業地別)	4か月連続	鉱工業出荷指数(総合)	4か月振り		
	就職率	4か月振り	大型店売上高(☆)	2か月連続		
	鉱工業生産指数(総合)	4か月連続				
	着工建築物床面積(産業用)	3か月振り				
	輸入総額(唐津港＋伊万里港)	3か月連続				
《遅行系列》 採用系列数 6 拡張系列数 4.0 指 数 66.7	常用雇用指数	4か月振り	陶磁器生産重量(☆)	6か月振り		
	雇用保険受給実人員(逆)	2か月連続	鉱工業在庫指数(総合)	3か月連続		
	消費者物価指数(☆)	2か月振り				
	銀行預貸率	5か月振り				

(逆)は逆サイクルを示す。
(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。
(注)・センサス局法X-12-ARIMAで季節調整をしている指標についてはデータを追加するたびに季節調整要因が変更されるため、
 遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。
・鉱工業指数など一部の指標は補正を行うことから、同様に遡及して数値が変わることがあります。
・有効求人倍率は、平成17年1月までは「受理地別値」を使用し、平成17年2月以降は「就業地別値」を使用しています（就業地別値は、平成17年2月分からデータが公表されているため）。また、毎年1月分公表時に新季節指数に改定されることから、
 遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。
・令和4年10月分まで先行系列の指標に用いていた「不渡手形金額」及び「手形交換金額」は、令和4年11月の電子交換所への移行に伴いデータの公表がなくなったため、令和4年11月分から、これらを除外した指標により先行指数を算出しています。
 なお、遡及して全期間を再計算しているため、これ以前の公表値とは数値等が異なります。
・令和6年2月分公表から、「鉱工業（生産・出荷・在庫）指数」の基準年更新により、全期間で遡及して数値を変えているため、
 全系列（先行・一致・遅行）において、変化方向が一部変わっています。
・参考値として掲載しているCI一致指数について、毎年1月分公表時に計算基準を更新することから、
 全期間で遡及計算するため数値が変わることがあります。
・令和7年4月分公表から、「陶磁器生産重量」の季節調整をセンサス局法X-12-ARIMAから対前年同月比に変更し、
 全期間で遡及して数値を変えているため、変化方向が一部変わっています。
・令和8年7月分公表から、「消費者物価指数」の基準年更新により、全期間で遡及して数値を変えているため、
 変化方向が一部変わっています。また、「銀行貸出残高」「陶磁器生産重量」「銀行預貸率」について、集計方法を変更し
 全期間で遡及して数値を変えているため、変化方向が一部変わっています。